

草津白根山の火山活動解説資料(平成21年1月)

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

地震活動や地殻変動には特段の変化はみられませんでした。水釜火口の北側にあたる斜面や湯釜火口内北東部でわずかな熱活動の高まりがみられており、今後これらの活動がさらに高まった場合には、火口内で噴出等の現象が発生する可能性がありますので注意が必要です。

平成19年12月1日に噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

活動概況

・噴気など表面現象の状況(図2)

東京工業大学の観測によると、1月以降も湯釜火口内北東部の熱活動は継続しています。

逢ノ峰(湯釜の南約1km)に設置してある遠望カメラでは、北側噴気地帯の弱い噴気が時々観測されました。

・地震や微動の発生状況(図3、図4)

山体を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況(図4)

GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

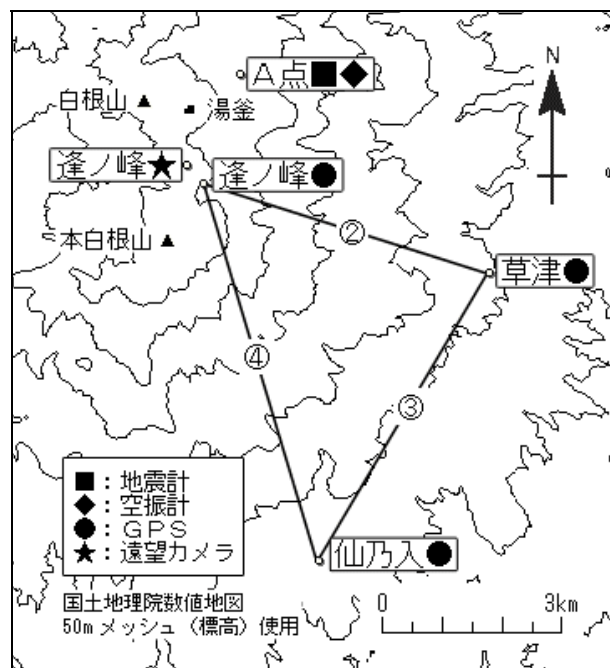


図1 草津白根山 気象庁の観測点配置図

(小さな白丸は観測点位置を示しています)

GPS基線 ~ は図8の ~ に対応しています。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成21年2月分)は平成21年3月6日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、東京工業大学のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』『数値地図25000(地図画像)』を使用しています(承認番号:平20業使、第385号)。



図2 草津白根山 湯釜付近の状況(1月28日、逢ノ峰遠望カメラによる)

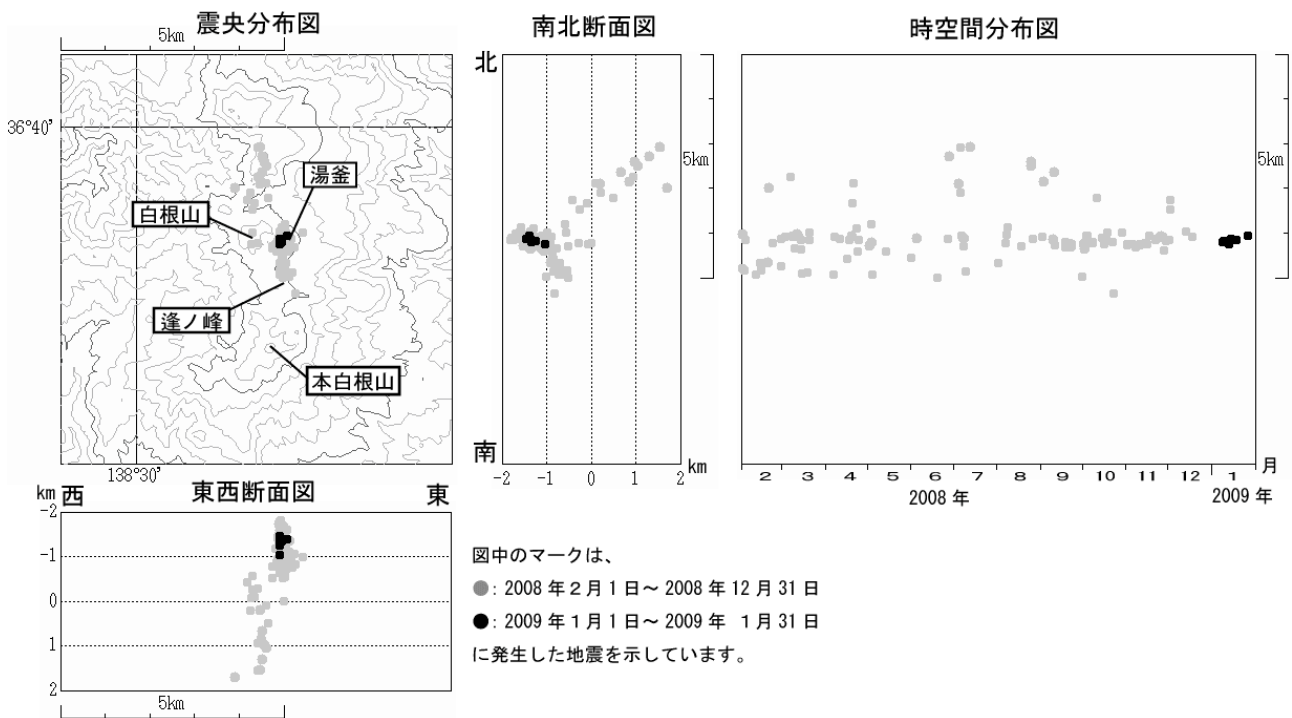


図3 草津白根山 震源分布図(2008年2月1日～2009年1月31日)

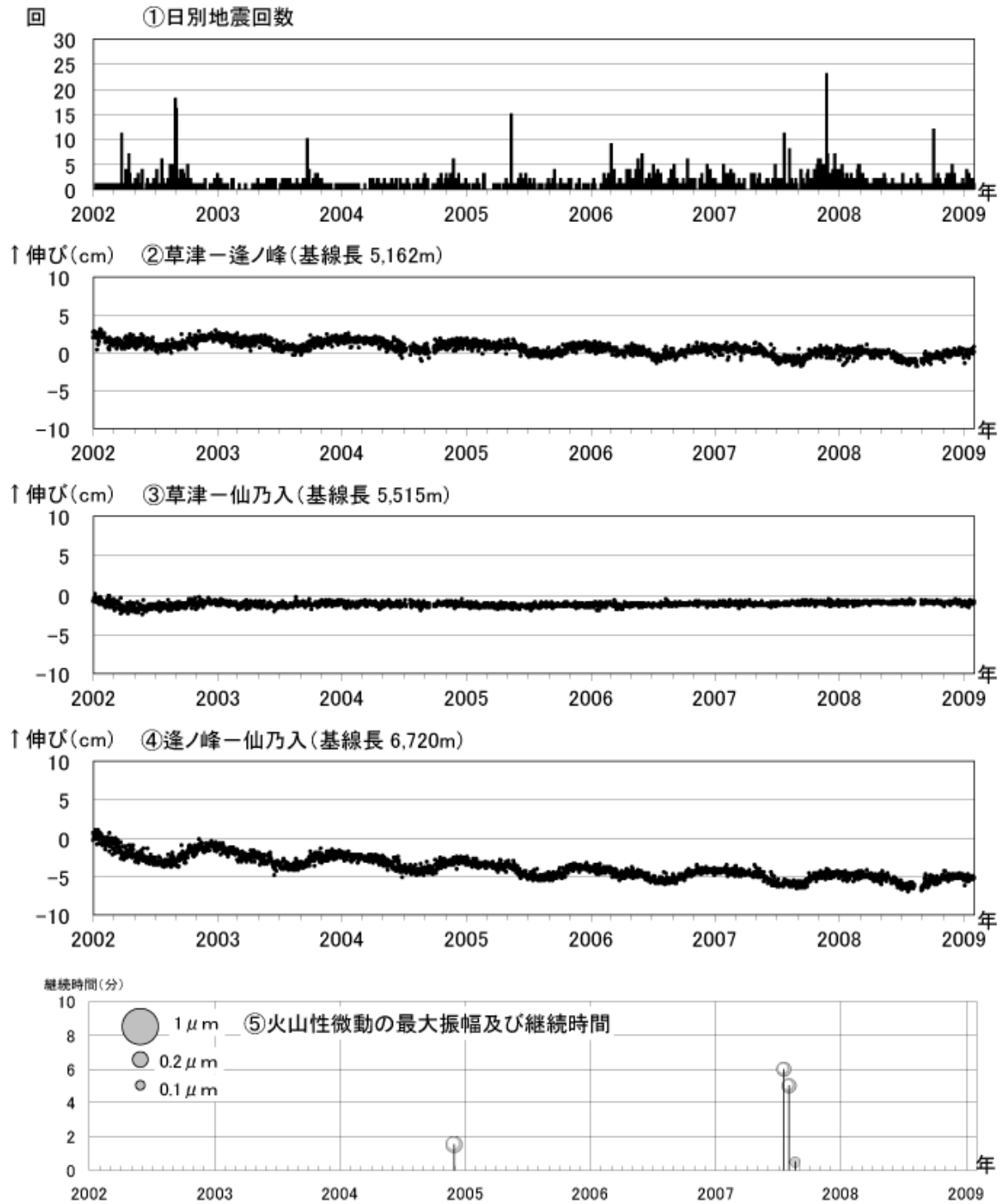


図 4 草津白根山 最近の火山活動の推移(2002 年 1 月～2009 年 1 月)
 山体付近に発生した地震の日別回数
 ～ GPS 連続観測による基線長変化
 基線長変化にみられる冬季の伸びと夏季の縮みの傾向は季節変動による変化です。
 ～ は図 1 の ～ に対応しています。
 火山性微動の発生状況